

令和6年度 第1回富山県スポーツ推進審議会

- 資料 1 ・ 現行スポーツプランの概要
- 資料 2 ・ 国の第3期スポーツ基本計画の概要
- 資料 3 ・ 国のスポーツ基本計画の比較
(第2期と第3期)
- 資料 4 ・ 前回(3月)会議における主な意見
- 資料 5 ・ 新たなスポーツプランの骨子案と
現行プランの比較
- 参考資料 ・ 新たなスポーツプランの
主な取組案(事務局案)

I 目指す姿 **スポーツで創る、笑顔・ひと・未来・元気とやま**

II 目 標 **スポーツで輝く社会の実現 —スポーツを楽しみ、健康で活力ある社会の実現—**

III 基本方針 **スポーツによる交流・連携・協働の推進**

IV 基本施策

スポーツを通じた
人が輝く元気とやまの創造

基本施策 1 県民がスポーツに親しむことができる環境の充実

施策目標

県民がそれぞれの興味、関心、ライフステージに応じて、スポーツを「する・みる・ささえる」活動に参画し、一生にわたって主体的にスポーツを楽しむことができる環境の充実

具体的方策

- 1 **スポーツ参加の機会づくりの推進**
 - (1) 気軽にスポーツに参加できる機会の充実
 - スポーツイベントの充実
 - 子育て世代のスポーツ活動の推進
 - 働き盛り世代のスポーツ活動の推進
 - 女性のスポーツ活動の推進
 - (2) 地域におけるスポーツ活動の推進
 - スポーツ関係団体等のスポーツ教室の充実
 - 身近な地域でのスポーツ活動の推進
 - (3) 障害者スポーツの推進
 - 障害者のスポーツ活動の機会充実
 - 障害者スポーツの普及
 - (4) スポーツを通じた健康増進
 - 手軽にできる運動やスポーツの普及・啓発
 - 高齢者のスポーツ活動の推進
 - (5) スポーツ情報の効果的な提供
 - スポーツ情報ネットワークの充実
 - スポーツ情報の積極的・効果的な提供
- 2 **スポーツ施設の機能の充実と学校体育施設開放の促進**
 - (1) 県営スポーツ施設の機能の充実と活用の促進
 - 施設設備・機能等の充実
 - (2) 武道館機能を有する多目的施設の整備
 - 武道の振興・競技力の向上
 - 日常的・冬季のスポーツの場となる施設整備
 - スポーツイベントや文化イベントの開催による地域の活性化
 - (3) 学校体育施設の有効活用の促進
 - 施設開放の促進
- 3 **スポーツ活動を支える組織の充実と交流・連携・協働の推進**
 - (1) スポーツ関係団体等の育成と支援
 - スポーツ関係団体の育成と支援
 - 総合型クラブの質的充実
 - コンプライアンスの推進
 - (2) スポーツ関係団体・学校・企業等の交流・連携・協働の推進
 - スポーツ関係団体等による推進体制の整備
 - 派遣スポーツ主事による県と市町村の連携の推進

参考指標 ● 成人の週1回以上のスポーツ実施率…50%程度
● スポーツイベント(県スポーツフェスタ、ウォーキングカップ)参加者数…100,000人

基本施策 2 たくましい子どもの育成と学校体育・スポーツの充実

施策目標

生涯にわたるスポーツに親しむ契機となる学校体育・スポーツ活動の充実による、運動やスポーツに積極的に取り組む子どもの育成

具体的方策

- 1 **運動好きな子どもの育成と体力向上の取組の推進**
 - (1) 学校等における体力向上の取組の推進
 - 子どもの体力等の調査・分析・考察
 - 「元気っ子育成計画」の推進
 - 「みんなでチャレンジ3015」の積極的な活用
 - (2) 望ましい生活習慣を身につけ積極的に運動やスポーツに取り組む子どもの育成
 - 子どものスポーツ機会の充実
 - 幼児期から中学生期までの運動習慣の定着
 - 望ましい生活習慣や食習慣の定着
- 2 **学校における体育・スポーツ活動の充実**
 - (1) 地域と連携した学校体育・スポーツ活動の推進
 - 地域のスポーツ人材の活用を推進する体制の整備
 - (2) 教員の指導力の向上
 - 個に応じた指導力の向上
 - 学習指導要領に対応した研修会等の充実
 - (3) 少子化等に対応した運動部活動の推進
 - スポーツエキスパート派遣事業の充実
 - スーパーコーチ派遣事業の充実
 - 合同運動部活動の支援
 - 専門的な指導力をもつ教員・部活動指導員の配置
 - (4) 指導者引き等を活用した合理的かつ効率的・効果的な運動部活動の推進
 - 合理的かつ効率的・効果的な活動の推進
 - 科学的トレーニングの積極的な導入
 - 体と心の状態等正しい知識を得た指導者の充実
- 3 **体力向上や運動習慣等に関する啓発活動の展開**
 - (1) 子どもの体力向上に関する情報提供
 - 子どもの体力向上に関する積極的な情報提供
 - 子どもの体力向上を推進する気運の醸成
 - (2) 体力テストや運動の記録を競い合う体力ランキングの実施
 - インターネット等を活用した体力ランキングの実施
 - 体力ランキング上位校等の顕彰

参考指標 ● 全国体力・運動能力調査における体力合計点…全国上位
● 体力向上シート「みんなでチャレンジ3015」の目標点に到達した小学生の割合…98%

基本施策 3 全国や世界の舞台で活躍できる選手の育成

施策目標

トップアスリートの育成を目指した強化体制の構築による、全国や世界の舞台で活躍できる選手の育成

具体的方策

- 1 **トップアスリートの育成を目指した強化施策の推進**
 - (1) 一貫指導体制の推進
 - ジュニア選手の育成・強化
 - 地域スポーツクラブ等と連携した一貫指導体制の環境整備
 - (2) トップアスリートの育成
 - 県スポーツアドバイザーの設置による競技力向上
 - 国体での活躍が期待できる競技等の重点強化
 - 障害者スポーツにおけるトップアスリートの活動支援
 - 県民の関心の高い競技の重点強化
 - コンプライアンスの推進
- 2 **競技力の向上を目指した強化拠点の整備推進**
 - (1) 県総合体育センターや西部体育センターの強化拠点の整備
 - 県総合体育センター・西部体育センターを競技力向上の中核拠点とする体制づくりの推進
 - 県総合体育センターの機能をフル活用した競技力向上
 - (2) 競技別強化拠点の確立
 - 競技別強化拠点での重点強化
 - 強化の拠点となる高校への支援の検討
- 3 **トップアスリートを県民総ぐるみで支援する体制の推進**
 - (1) トップアスリートを応援する気運の醸成と支援活動の推進
 - トップアスリートとの交流の促進
 - 県民スポーツ応援団活動の推進
 - 元気とやまスポーツ応援基金によるトップアスリートの活動支援
 - トップアスリートを支援する財源の確保
 - (2) 広報活動の推進
 - マスメディアやホームページ等を活用した県民への積極的な情報提供

参考指標 ● 国体、全国高校総体、全中大会等における上位入賞数…48以上
● オリンピック競技大会(夏季・冬季)に出場する本県選手数…10人以上

基本施策 4 スポーツを支える人材の育成と活用

施策目標

県民のスポーツ活動の充実に欠かせない質の高い指導者やボランティア等の育成と、その人材の効果的な活用

具体的方策

- 1 **スポーツに関わる多様な人材の育成と活用の推進**
 - (1) スポーツのすそ野を拡大する指導者の育成
 - 地域のスポーツ指導者の資質向上
 - 県スポーツ推進委員協議会の活動推進
 - 総合型クラブのクラブマネージャー等の資質向上
 - 障害者スポーツ指導者の資質向上
 - バスケットとやまの活用と内容の充実
 - (2) 国際大会等で活躍したトップアスリートの活用の推進
 - ジュニア選手の育成・強化や子どもの体力向上事業への積極的活用
 - (3) スポーツボランティアの活用の推進
 - スポーツボランティア活動の普及啓発
 - ボランティア活動の機会づくり
- 2 **競技力の向上を担う指導者と国レベルの強化拠点との連携強化**
 - (1) スポーツ医・科学的サポートの充実
 - トップレベルのトレーニング指導ができる指導者の育成・活用
 - 練習拠点における指導者の育成強化
 - コンプライアンスの推進
 - (2) 国立スポーツ科学センター(JISS)やナショナルトレーニングセンター(NTC)との連携強化
 - 指導者の資質向上と資格取得の推進
- 3 **スポーツ活動の顕彰の充実**
 - (1) 国際大会等で活躍した富山のアスリートを称える顕彰の充実
 - アスリート等の顕彰の充実
 - (2) 県民の多様なスポーツ活動を称える顕彰の充実
 - 「元気とやまスポーツ大賞」の充実

参考指標 ● 日本スポーツ協会に登録している公認スポーツ指導者数…3,000人
● 日本障がい者スポーツ協会が定める「障害者スポーツ指導員」資格の取得者数(累計)…925人

基本施策 5 スポーツを通じた地域の活性化

施策目標

本県の豊かな自然やスポーツ施設等を活用し、国内外からの交流人口の拡大と活力に満ちた地域づくり

具体的方策

- 1 **地域を活性化させるスポーツイベント等の推進**
 - (1) 本県の魅力を活かしたスポーツイベントの開催
 - 富山マラソンの充実
 - ウォーキングイベントによる地域活性化
 - 関係機関等と連携したスポーツイベントの企画・誘致
 - (2) 武道館機能を有する多目的施設を活用した地域の活性化
 - 武道の振興・競技力の向上
 - 日常的・冬季のスポーツの場となる施設整備
 - スポーツイベントや文化イベントの開催による地域の活性化
 - (3) スポーツを通じた交流の促進
 - スポーツ合宿、全国規模スポーツ大会の誘致
 - 各種大会等による国際交流の推進
 - スポーツ教室や大会、ボランティアなどの参加機会の充実
- 2 **「みるスポーツ」の機会づくりの推進**
 - (1) トップアスリートのパフォーマンスをみる機会の推進
 - 地元チームを応援する環境づくり
 - トップアスリートのパフォーマンスを身近にみる機会づくりの推進
 - (2) プロスポーツ等と連携したスポーツの魅力の発信
 - プロスポーツチーム等の地域貢献活動の推進
 - トップスポーツクラブと企業等の連携・協力体制の整備
- 3 **スポーツ情報の発信**
 - (1) スポーツ観戦の魅力やスポーツイベント等の発信
 - スポーツ大会やイベントの魅力等の情報提供
 - 「みるスポーツ」の機会づくりの推進

参考指標 ● 県内プロスポーツチーム(バスケットボール、サッカー、野球)のホームゲーム年間観客総数…160,000人
● 富山マラソンにおける海外枠の充足率…100%

第3期スポーツ基本計画（概要）

【第2期計画期間中の総括】

- ① **新型コロナウイルス感染症：**
 - ▶ 感染拡大により、スポーツ活動が制限
- ② **東京オリンピック・パラリンピック競技大会：**
 - ▶ 1年延期後、原則無観客の中で開催
- ③ **その他社会状況の変化：**
 - ▶ 人口減少・高齢化の進行
 - ▶ 地域間格差の広がり
 - ▶ DXなど急速な技術革新
 - ▶ ライフスタイルの変化
 - ▶ 持続可能な社会や共生社会への移行

こうした出来事等を通じて、改めて確認された

- ・「楽しさ」「喜び」「自発性」に基づき行われる本質的な『**スポーツそのものが有する価値**』（Well-being）
- ・スポーツを通じた地域活性化、健康増進による健康長寿社会の実現、経済発展、国際理解の促進など『**スポーツが社会活性化等に寄与する価値**』

を更に高めるべく、第3期計画では次に掲げる施策を展開

1. 東京オリ・パラ大会の**スポーツ・レガシー**の継承・発展に資する重点施策

<p>持続可能な国際競技力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東京大会の成果を一過性のものとせず、持続可能な国際競技力を向上させるため、 <ul style="list-style-type: none"> ・ NFの強化戦略プランの実効化を支援 ・ アスリート育成パスウェイを構築 ・ スポーツ医・科学、情報等による支援を充実 ・ 地域の競技力向上を支える体制を構築 	<p>共生社会の実現や多様な主体によるスポーツ参画の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東京大会による共生社会への理解・関心の高まりと、スポーツの機運向上を契機としたスポーツ参画を促進 ○ オリパラ教育の知見を活かしたアスリートとの交流活動を推進 	<p>スポーツを通じた国際交流・協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東京大会に向けて、世界中の人々にスポーツの価値を届けたスポーツ・フォー・トゥモロー（SFT）事業で培われた官民ネットワークを活用し、更なる国際協力を展開、スポーツSDGsにも貢献（ドーピング防止活動に係る人材・ネットワークの活用等）
<p>大規模大会の運営ノウハウの継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症の影響下という困難な状況の下で、東京大会を実施したノウハウを、スポーツにおけるホスピタリティの向上に向けた取組も含め今後の大規模な国際競技大会の開催運営に継承・活用 	<p>地方創生・まちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東京大会による地域住民等のスポーツへの関心の高まりを地方創生・まちづくりの取組に活かし、将来にわたって継続・定着 ○ 国立競技場等スポーツ施設における地域のまちづくりと調和した取組を推進 	<p>スポーツに関わる者の心身の安全・安心確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東京大会でも課題となったアスリート等の心身の安全・安心を脅かす事態に対応するため、 <ul style="list-style-type: none"> ・ 誹謗中傷や性的ハラスメントの防止 ・ 熱中症対策の徹底など安全・安心の確保 ・ 暴力根絶に向けた相談窓口の一層の周知・活用

2. スポーツの価値を高めるための第3期計画の新たな「3つの視点」を支える施策

<p>スポーツを「つくる／はぐくむ」</p> <p>社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれず柔軟に見直し、最適な手法・ルールを考えて作り出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 柔軟・適切な手法や仕組みの導入等を通じた、多様な主体が参加できるスポーツの機会創出 ◆ スポーツに取り組む者の自主性・自律性を促す指導ができる質の高いスポーツ指導者の育成 ◆ デジタル技術を活用した新たなスポーツ機会や、新たなビジネスモデルの創出などDXを推進 	<p>スポーツで「あつまり、ともに、つながる」</p> <p>様々な立場・背景・特性を有した人・組織があつまり、ともに課題に対応し、つながりを感じてスポーツを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 施設・設備整備、プログラム提供、啓発活動により誰もが一緒にスポーツの価値を享受できる、スポーツを通じた共生社会の実現 ◆ スポーツ団体のガバナンス・経営力強化、関係団体等の連携・協力による我が国のスポーツ体制の強化 ◆ スポーツ分野の国際協力や魅力の発信 	<p>スポーツに「誰もがアクセスできる」</p> <p>性別や年齢、障害、経済・地域事情等の違い等によって、スポーツの取組に差が生じない社会を実現し、機運を醸成。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 住民誰もが気軽にスポーツに親しめる「場づくり」等の機会の提供 ◆ 居住地域にかかわらず、全国のアスリートがスポーツ医・科学等の支援を受けられるよう地域機関の連携強化 ◆ 本人が望まない理由でスポーツを途中で諦めることがない継続的なアクセスの確保
--	---	---

3. 今後5年間に**総合的かつ計画的に取り組む12の施策**

<p>① 多様な主体におけるスポーツの機会創出</p> <p>地域や学校における子供・若者のスポーツ機会の充実と体力向上、体育の授業の充実、運動部活動改革の推進、女性・障害者・働く世代・子育て世代のスポーツ実施率の向上 等</p>	<p>② スポーツ界におけるDXの推進</p> <p>先進技術を活用したスポーツ実施のあり方の拡大、デジタル技術を活用した新たなビジネスモデルの創出 等</p>	<p>③ 国際競技力の向上</p> <p>中長期の強化戦略に基づく競技力向上支援システムの確立、地域における競技力向上を支える体制の構築、国・JSP・地方公共団体が一体となった国民体育大会の開催 等</p>
<p>④ スポーツの国際交流・協力</p> <p>国際スポーツ界への意思決定への参画促進、スポーツ産業の国際展開を促進するプラットフォームの創設 等</p>	<p>⑤ スポーツによる健康増進</p> <p>健康増進に資するスポーツに関する研究の充実・調査研究成果の利用促進、医療・介護や企業・保険者との連携強化 等</p>	<p>⑥ スポーツの成長産業化</p> <p>スタジアム・アリーナ整備の着実な推進、他産業とのオープンイノベーションによる新ビジネスモデルの創出支援 等</p>
<p>⑦ スポーツによる地方創生、まちづくり</p> <p>武道やアウトドアスポーツ等のスポーツツーリズムの更なる推進など、スポーツによる地方創生、まちづくりの創出の全国での加速化 等</p>	<p>⑧ スポーツを通じた共生社会の実現</p> <p>障害者や女性のスポーツの実施環境の整備、国内外のスポーツ団体の女性役員候補者の登用・育成の支援、意識啓発・情報発信 等</p>	<p>⑨ スポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化</p> <p>ガバナンス・コンプライアンスに関する研修等の実施、スポーツ団体の戦略的経営を行う人材の雇用創出を支援 等</p>
<p>⑩ スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材</p> <p>民間・大学も含めた地域スポーツ施設の有効活用の促進、地域スポーツコミッションなど地域連携組織の活用、全NFでの人材育成及び活用に関する計画策定を促進、女性のスポーツ指導に精通した指導者養成支援 等</p>	<p>⑪ スポーツを実施する者の安全・安心の確保</p> <p>暴力や不適切な指導等の根絶に向けた指導者養成・研修の実施、スポーツ安全に係る情報啓発・安全対策の促進 等</p>	<p>⑫ スポーツ・インテグリティの確保</p> <p>スポーツ団体へのガバナンスコードの普及促進、スポーツ仲裁・調停制度の整備等推進、教育研修や研究活動等を通じたドーピング防止活動の展開 等</p>

『感動していただけるスポーツ界』の実現に向けた目標設定

全ての人が自発的にスポーツに取り組むことで自己実現を図り、スポーツの力で、前向きで活力ある社会と、絆の強い社会を目指す

<p>📍 国民のスポーツ実施率を向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 成人の週1回以上のスポーツ実施率を7.0%（障害者は4.0%） ✓ 1年に一度以上スポーツを実施する成人の割合を10.0%に近づける（障害者は7.0%を目指す） 	<p>📍 生涯にわたって運動・スポーツを継続したい子供の増加</p> <p>（児童86%⇒90%、生徒82%⇒90%）</p> <p>📍 子供の体力の向上</p> <p>（新体力テストの総合評価C以上の児童68%⇒80%、生徒75%⇒85%）</p>	<p>📍 誰もがスポーツに参画でき、共に活動できる社会を実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 体育授業への参加を希望する障害のある児童生徒の見学ゼロを目指した学習プログラム開発 ✓ スポーツ団体の女性理事の割合を40%
<p>📍 オリンピック・パラリンピック等の国際競技大会で、過去最高水準の金メダル数、総メダル数、入賞者数、メダル獲得競技数等の実現</p>	<p>📍 スポーツを通じて活力ある社会を実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ スポーツ市場規模15兆円の達成（2025年まで） ✓ スポーツ・健康まちづくりに取り組む地方公共団体の割合15.6%⇒40% 	<p>📍 スポーツを通じて世界とつながる</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ ポストSFT事業を通じて世界中の国々の700万人の人々への裨益を目標に事業を推進 ✓ 国際競技連盟（IF）等役員数37人規模の維持・拡大

第2期スポーツ基本計画(平成29～令和3年度)	第3期スポーツ基本計画(令和4～8年度)
<p><基本方針> ～スポーツが変える。未来を創る。Enjoy Sports, Enjoy Life ～ スポーツの「楽しさ」「喜び」こそがスポーツの価値の中核であり、全ての人々がスポーツの力で輝くとともに自己実現を図り、主体的に取り組むことにより、前向きで活力ある社会と、絆の強い社会を創る</p> <p>スポーツで「人生」が変わる！ 「社会」を変える！ 「世界」とつながる！ 「未来」を創る！</p> <p>↓</p> <p>【東京2020オリンピック・パラリンピック】を好機とし、レガシーとして「一億総スポーツ社会」を実現する。</p>	<p><施策の方向性> ・「楽しさ」「喜び」「自発性」に基づき行われる本質的な『スポーツそのものが有する価値』(Well-being) ・スポーツを通じた地域の活性化、健康増進による健康長寿社会の実現、経済発展、国際理解の促進など『スポーツが社会活性化等に寄与する価値』を更に高めるべく施策を展開する</p> <p><第3期計画の新たな「3つの視点」> ①スポーツを「つくる／はぐくむ」 ②「あつまり、スポーツを「ともに」行い、「つながり」を感じる ③スポーツに「誰もがアクセス」できる</p>
<p>総合的・計画的に取り組む施策</p>	
<p>1. スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と、そのための人材育成・場の充実 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進とその環境整備を行う。その結果として、成人のスポーツ実施率を週1回以上が65%程度(障害者は40%程度)、週3回以上が30%程度(障害者は20%程度)となることを目指す。</p> <p>(1)スポーツ参画人口の拡大 ①若年期から高齢期までライフステージに応じたスポーツ活動の推進 ②学校体育をはじめ子供のスポーツ機会の充実による運動習慣の確保と体力の向上 ③ビジネスパーソン、女性、障害者のスポーツ実施率の向上と、これまでスポーツに関わってこなかった人へのはたらきかけ</p> <p>(2)スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実 ①スポーツに関わる多様な人材の育成と活躍の場の確保 ②総合型地域スポーツクラブの質的充実 ③スポーツ施設やオープンスペース等のスポーツに親しむ場の確保 ④大学スポーツの振興</p>	<p>※(〇数字)は、第3期スポーツ基本計画の施策の通し番号</p> <p>・多様な主体におけるスポーツの機会創出(①) 国民のスポーツ実施率を向上させ、日々の生活の中で一人一人がスポーツの価値を享受できる社会を構築する。</p> <p>・スポーツ推進のためのハード、ソフト、人材(⑩) 国民がスポーツに親しむうえで不可欠となる「ハード(場づくり)」「ソフト(環境の構築)」 「人材」といった基盤を確保・強化するため、場づくりや環境の構築、スポーツに関わる人材の育成等を進める。</p> <p>・スポーツ界におけるDXの推進(②) スポーツ界においてDXを導入することで、様々なスポーツに関する知見や機会を国民・社会に広く提供することを可能とし、スポーツを「する」「みる」「ささえる」の実効性を高める。</p>
<p>2. スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現 社会の課題目標にスポーツを通じたアプローチが有効であることを踏まえ、スポーツを通じた共生社会等の実現、経済・地域の活性化、国際貢献に積極的に取り組む。</p> <p>(1)スポーツを通じた共生社会等の実現 ①障害者スポーツの振興等 ②スポーツを通じた健康増進 ③スポーツを通じた女性の活躍促進</p> <p>(2)スポーツを通じた経済・地域の活性化 ①スポーツの成長産業化 ②スポーツを通じた地域活性化</p> <p>(3)スポーツを通じた国際社会の調和ある発展</p>	<p>・スポーツを通じた共生社会の実現(⑧) 誰もが「する」「みる」「ささえる」スポーツの価値を享受し、様々な立場・状況の人と「ともに」スポーツを楽しむ環境の構築を通じ、スポーツを軸とした共生社会を実現する。</p> <p>・スポーツによる健康増進(⑤) 地域住民の多様な健康状態やニーズに応じて、関係省庁で連携しつつ、スポーツを通じた健康増進により健康長寿社会の実現を目指す。また、健康寿命の延伸に、スポーツ実施率の向上を通じて貢献する。</p> <p>・スポーツの成長産業化(⑥) スポーツ市場を拡大し、その収益をスポーツ環境の改善に還元し、スポーツ参画人口の拡大につなげるといふ好循環を生み出すことにより、スポーツ市場規模5.5兆円を2025年までに15兆円に拡大することを目指す。</p> <p>・スポーツによる地方創生、まちづくり(⑦) 全国各地で特色ある「スポーツによる地方創生、まちづくり」の取組を創出させ、スポーツを活用した地域の社会課題の解決を促進することで、スポーツが地域・社会に貢献し、競技振興への住民・国民の理解と支持を更に広げ、競技振興と地域振興の好循環を実現する。</p> <p>・スポーツの国際交流・協力(④) スポーツの国際交流・協力を進めることで、スポーツ界における我が国の国際的な位置づけを高めるとともに、スポーツを通じた国・地域・人々のつながりを強める。</p>
<p>3. 国際競技力の向上に向けた協力で持続可能な人材育成や環境整備 国際競技大会等において優れた成績を挙げる競技数が増加するよう、各中央競技団体が行う競技力強化を支援する。 日本オリンピック委員会(JOC)及び日本パラリンピック委員会(JPC)の設定したメダル獲得目標を踏まえつつ、我が国のトップアスリートが、オリンピック・パラリンピックにおいて過去最高の金メダル数を獲得する等優秀な成績を収めることができるように支援する。</p> <p>①中長期の強化戦略に基づく競技力強化を支援するシステムの確立 ②次世代アスリートを発掘・育成する戦略的な体制等の構築 ③スポーツ医・科学、技術開発、情報等による多面的で高度な支援の充実 ④トップアスリート等のニーズに対応できる拠点の充実</p>	<p>・国際競技力の向上(③) 我が国のアスリートがひたむきに努力し、試合で躍動する姿は、国民の誇りや感動につながり、国に活力をもたらすものであることから、関係機関と連携し、中央競技団体が行う競技力向上を支援する。そうした取り組みを通じ、オリンピック・パラリンピック競技大会等を含む主要国際大会において、過去最高水準の金メダル獲得数、メダル獲得数、入賞数及びメダル獲得競技数等の実現を図る。</p>
<p>4. クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、クリーンでフェアなスポーツ(スポーツ・インテグリティ)の推進に一体的に取り組むことを通じて、スポーツの価値の一層の向上を目指す。</p> <p>①コンプライアンスの徹底、スポーツ団体のガバナンスの強化及びスポーツ仲裁等の推進 ②ドーピング防止活動の推進</p>	<p>・スポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化(⑨) スポーツの機会提供等の主要な担い手となるスポーツ団体のガバナンス改革・経営力強化を図ることで、国民がスポーツに関わる機会の安定的な国保に資する。</p> <p>・スポーツ・インテグリティの確保(⑫) 我が国のスポーツ・インテグリティを高め、クリーンでフェアなスポーツの推進に一体的に取り組むことで、国民・社会がスポーツの価値を十分に享受できるような取組を進める。</p> <p>・スポーツを実施する者の安全・安心の確保(⑪) スポーツを実施するものが、本人の希望しない理由等でスポーツから離れたり、スポーツに親しむ機会を奪われないよう、スポーツを実施する者の心身の安全・安心を確保する。</p>

●改定の方向性について

○基本施策の5本の柱は、改定についてもこの形で進めていく。

●基本施策1 「県民がスポーツに親しむことができる環境の充実」

- シニアスポーツは結構盛んであるが、高齢者についての記述がないところが気になる。
- 学校では生徒数の減少により、昔は必ずあった野球やバレーなどの部活動がなくなっている。
- 今後、若い人たちをどのように組織に取り込んでいくかが、どの組織（種目）でも共通の悩みである。
- 働き盛り世代の方々のライフスタイルの中に、どのようにスポーツを取りこんでいくかが課題である。
- 子供がスポーツクラブなどに通っている場合は、保護者も送り迎えだけでなく、一緒に取り組む方法があるのではないか。
- 障害を持った方々もスポーツに取り組んでおられるが、介助が必要で、人との交流が一層多くなることが、今後の課題である。
- ユニバーサルスポーツを、身近なところで、いつでもできるように、環境を整えていけばいいのではないかと。何かやりたいと思った時に、参加できるイベントなどを検索できるようなアプリなどがあればいい。
- 設備の改善だけでなく、使用料の設定や減免についても考えていただきたい。

●基本施策2 「たくましい子どもの育成と学校体育・スポーツの充実」

- 体力テストの結果があまり良くない。小学生はまだいいが、特に中学生女子が低い。
- 高校生の体力・運動能力テストの結果自体は、良くも悪くもなっていないが、全国平均から比べたら低い。
- 子供たちが集団で遊ぶ環境や体を動かす機会に恵まれていないように感じる。
- 最近の子供たちは、昔と比較して確かに体格はいいが、筋肉のつき方や骨格が違っている。怪我の予防には、日常からの遊びを含めた運動・負荷が大事である。

●基本施策3 「全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成」

- 学校部活動の地域移行により、送迎や受益者負担などで参加できない子ども出てきて、二極化していきのではないかと。
- スポーツの楽しさが、ゲームなどの楽しさに奪われてしまっている感じがする。子供のうちから、たくさんのスポーツ経験をして欲しい。
- 優秀な選手を発掘して、富山県の中に置いておくことは、今はほぼ不可能ではないかと感じる。
- 中学生は、全国レベルの選手が何人もいるが、なかなか県内に残ってくれない。富山県は高校と大学の数が増えないので、そこがネックである。
- 大学卒業後や、実業団で活動し、第一線を退いた後、地元に戻ってきても活躍できる場が今はない。セカンドキャリアは重要で、企業とアスリートがマッチングするような制度を取り入れたり、アプリを作ったりして支援していただきたい。
- 少子化により、高校年代でも部員数を確保することができない。全国から生徒を募集して強化を図れるようにしてほしい。

●基本施策5 「スポーツを通じた地域の活性化」

- 以前は、会社で企業チームを持つスタイルが多かったが、今は、チームを外部へ出して、そこへスポンサーとして支援する方が、企業とすれば取り組みやすいと考えている。いろいろなプロスポーツチームへ、企業の方にスポンサーとして参画を求めて、活性化しながら、さらに（そのチーム等を軸に）地域貢献につなげる方法があるのではないかと。
- 県外学生のスポーツ合宿の誘致。
- スポーツコミッションということで、これからのスポーツ戦略、スポーツ環境を大きく魅力的なものに変えていくために、経済界が関わり、バックアップしていただくことで、お金が動く。そういう環境整備を行って欲しい。

- 検討にあたっての主な観点**
- ① 国の第3期スポーツ基本計画の内容を踏まえる
 - ② スポーツを活用した地域活性化(スポーツコミッションなど)
 - ③ 障害者を含めたあらゆる世代のスポーツ機会の確保
 - ④ 部活動の地域移行に伴う生徒のスポーツ環境の確保・整備 等

新たなスポーツプランの骨子案と現行プランの比較

第2期スポーツプラン(2020年度～2030年度予定)		
基本施策	具体的方策	具体的施策
県民がスポーツに親しむことができる環境の充実	1 スポーツ参加の機会づくりの推進	1 気軽にスポーツに参加できる機会の充実 2 地域におけるスポーツ活動の推進 3 障害者スポーツの推進 4 スポーツを通じた健康増進 5 スポーツ情報の効果的な提供
	2 スポーツ施設の機能の充実と学校体育施設開放の促進	1 県営スポーツ施設の機能の充実と活用の促進 2 武道館機能を有する多目的施設の整備 3 学校体育施設の有効活用の促進
	3 スポーツ活動を支える組織の充実と交流・連携・協働の推進	1 スポーツ関係団体等の育成と支援 2 スポーツ関係団体・学校・企業等の交流・連携・協働の推進
たくましい子どもの育成と学校体育・スポーツの充実	1 運動好きな子どもの育成と体力向上の取組の推進	1 学校等における体力向上の取組の推進 2 望ましい生活習慣を身につけ積極的に運動やスポーツに取り組む子どもの育成
	2 学校における体育・スポーツ活動の充実	1 地域と連携した学校体育・スポーツ活動の推進 2 教員の指導力の向上 3 少子化等に対応した運動部活動の推進 4 指導手引き等を活用した合理的かつ効率的・効果的な運動部活動の推進
	3 体力向上や運動習慣等に関する啓発活動の展開	1 子どもの体力向上に関する情報提供 2 体力テストや運動の記録を競い合う体力ランキングの実施
全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成	1 トップアスリートの育成を目指した強化施策の推進	1 一貫指導体制の推進 2 トップアスリートの育成
	2 競技力の向上を目指した強化拠点の整備推進	1 県総合体育センターや西部体育センターの強化拠点の整備 2 競技別強化拠点の確立
	3 トップアスリートを支える体制の推進	1 トップアスリートを応援する気運の醸成と支援活動の推進 2 広報活動の促進
スポーツを支える人材の育成と活用	1 スポーツに関わる多様な人材の育成と活用の推進	1 スポーツのすそ野を拡大する指導者の育成 2 国際大会等で活躍したトップアスリートの活用の推進 3 スポーツボランティアの活用の推進
	2 競技力の向上を担う指導者と国レベルの強化拠点との連携強化	1 スポーツ医・科学的サポートの充実 2 JISSやNTCとの連携強化
	3 スポーツ活動の顕彰の充実	1 国際大会等で活躍した富山のアスリートを称える顕彰の充実 2 県民の多様なスポーツ活動を称える顕彰の充実
スポーツを通じた地域の活性化	1 地域を活性化させるスポーツイベント等の推進	1 本県の魅力を活かしたスポーツイベントの開催 2 武道館機能を有する多目的施設を活用した地域の活性化 3 スポーツを通じた交流の促進
	2 「みるスポーツ」の機会づくりの推進	1 トップアスリートのパフォーマンスをみる機会の推進 2 プロスポーツ等と連携したスポーツの魅力の発信
	3 スポーツ情報の発信	1 スポーツ観戦の魅力やスポーツイベント等の発信

新たなスポーツプランの骨子案		
基本施策	具体的方策	具体的施策
県民誰もがスポーツに親しむことができる環境の充実	1 多様な主体におけるスポーツの機会創出と共生社会の実現	1 誰もが気軽にスポーツに参加できる機会の創出 2 地域におけるスポーツ活動の推進 3 障害者スポーツの推進 4 スポーツによる健康増進
	2 スポーツ施設の機能の充実と学校体育施設開放の促進	1 県営スポーツ施設の機能の充実と活用促進 2 新たな武道館整備等によるスポーツ環境の充実 3 学校体育施設の有効活用の促進
	3 スポーツ活動を支える組織の充実	1 スポーツ関係団体等の活動支援 2 スポーツ関係団体・学校・企業等の連携の推進
運動好きな子どもの育成と地域と連携した学校体育・スポーツの充実	1 運動好きな子どもの育成と体力向上の取組の推進	1 学校等における体力向上の取組の推進 2 望ましい生活習慣を身につけ積極的に運動やスポーツに取り組む子どもの育成
	2 地域と連携した学校体育・スポーツ活動の充実	1 地域と連携した学校体育・スポーツ活動の推進 2 教員、部活動・地域クラブ活動指導者の指導力の向上 3 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備 4 合理的かつ効率的・効果的な運動部活動・地域クラブ活動の推進
	3 体力向上や運動習慣等に関する啓発活動の展開	1 子どもの体力向上に関する情報提供 2 体力テストや運動の記録を競い合う体力ランキングの実施
全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成	1 トップアスリートの育成を目指した強化施策の推進	1 一貫指導体制(見つける、育てる、活かす)の推進 2 アスリートの資質・競技力向上 3 IoT、DXを活用した競技力向上事業の推進
	2 競技力の向上を目指した強化拠点の整備推進	1 中核拠点(県営スポーツ施設)の機能充実 2 競技別強化拠点の確立
	3 トップアスリートを支える体制の整備	1 トップアスリートを応援する機運の醸成 2 障害者アスリートへの応援体制の整備 3 広報活動の促進
スポーツを支える人材の育成と活用	1 スポーツに関わる多様な人材の育成と活用の推進	1 スポーツ活動を支える人材の育成 2 国際大会等で活躍したトップアスリートの活用の推進 3 スポーツボランティアの育成と活用の推進
	2 競技力の向上を担う指導者と、国レベルの強化拠点との連携強化	1 スポーツ医・科学的サポートの充実と中央強化拠点との連携強化 2 IoT、DXを活用できる競技別アナリストの育成
	3 スポーツ活動に対する顕彰の充実	1 国際大会等で活躍した富山のアスリートを称える顕彰の充実 2 県民の多様なスポーツ活動を称える顕彰の充実
スポーツを通じた関係人口の創出と地域の活性化	1 地域を活性化させるスポーツの推進	1 本県の魅力を活かしたスポーツイベント等の開催 2 新たな武道館整備等を契機とするスポーツ環境の魅力向上 3 スポーツを通じた交流の促進と関係人口の創出
	2 スポーツに関わる機会づくりの推進	1 トップアスリートと交流する機会づくりの推進 2 プロスポーツ等と連携したスポーツの魅力の発信
	3 スポーツ情報等の発信	1 スポーツ情報の効果的な発信 2 本県のスポーツ環境のPRと利便性の向上

新たなスポーツプランの主な取組案(事務局案)

	具体的方策	具体的施策	主な取組
① 県民誰もがスポーツに親しむことができる環境の充実	1 多様な主体におけるスポーツの機会創出と共生社会の実現	1 誰もが気軽にスポーツに参加できる機会の創出	・スポーツイベントの充実 ・子育て・働き盛り世代のスポーツ活動の推進 ・女性のスポーツ活動の推進
		2 地域におけるスポーツ活動の推進	・スポーツ関係団体等のスポーツ教室の充実 ・身近な地域でのスポーツ活動の推進
		3 障害者スポーツの推進	・障害者のスポーツ活動の機会充実 ・障害者スポーツの普及
		4 スポーツによる健康増進	・高齢者のスポーツ活動の推進 ・手軽にできる運動やスポーツの普及・啓発
	2 スポーツ施設の機能の充実と学校体育施設開放の促進	1 県営スポーツ施設の機能の充実と活用促進	・施設設備・機能等の充実
		2 新たな武道館整備等によるスポーツ環境の充実	・武道の振興・競技力の向上 ・武道館整備を含む県総合運動公園と周辺スポーツ施設等の連携と魅力向上
3 スポーツ活動を支える組織の充実	1 スポーツ関係団体等の活動支援	・施設開放の促進	
	2 スポーツ関係団体・学校・企業等の連携の推進	・スポーツ関係団体の組織力の強化 ・登録・認証制度による総合型クラブの質的充実 ・コンプライアンスの推進	
② 運動好きな子どもの育成と地域と連携した学校体育・スポーツの充実	1 運動好きな子どもの育成と体力向上の取組の推進	1 学校等における体力向上の取組の推進	・子どもの体力等の調査・分析・考察 ・「元気づけ育成計画」の推進 ・WEBアプリ「とやま元気づけチャレンジ」の積極的な活用
		2 望ましい生活習慣を身につけ積極的に運動やスポーツに取り組む子どもの育成	・子どものスポーツ機会の充実 ・幼児期から中学生期までの運動習慣の定着 ・望ましい生活習慣や食習慣の定着
	2 地域と連携した学校体育・スポーツ活動の充実	1 地域と連携した学校体育・スポーツ活動の推進	・地域のスポーツ人材の活用を推進する体制の整備 ・個に応じた指導力の向上
		2 教員・部活動・地域クラブ活動指導者の指導力の向上	・時代のニーズに対応した研修会等の充実 ・部活動指導員配置促進事業、スポーツエキスパート派遣事業の充実 ・バスケットとやま(指導者人材バンク)の周知・活用の啓発
		3 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備	・合同部活動・拠点校部活動の支援 ・専門的な指導力をもつ教員・部活動指導員・地域クラブ指導者の配置
	3 体力向上や運動習慣等に関する啓発活動の展開	4 合理的かつ効率的・効果的な運動部活動・地域クラブ活動の推進	・合理的かつ効率的・効果的な活動の推進 ・科学的トレーニングの積極的な導入 ・体と心の状態等正しい知識を得た指導の充実
1 子どもの体力向上に関する情報提供		・WEBアプリ「とやま元気づけチャレンジ」を活用した子どもの体力向上に関する積極的な情報提供 ・子どもの体力向上を推進する気運の醸成	
2 体力テストや運動の記録を競い合う体カランキングの実施	2 体カランキング上位校等の顕彰	・WEBアプリ「とやま元気づけチャレンジ」を活用した体カランキングの実施	
	③ 全国や世界の舞台で活躍できる選手の育成	1 トップアスリートの育成を目指した強化施策の推進	1 一貫指導体制(見つける、育てる、活かす)の推進
2 アスリートの資質・競技力向上			・競技力向上に結び付くIoT機器等の活用推進 ・各種データを競技力向上に結び付けることのできるアナリストの養成
3 IoT、DXを活用した競技力向上事業の推進			・県営スポーツ施設を競技力向上の中核拠点とする体制づくりの推進
2 競技力の向上を目指す強化拠点の整備推進		1 中核拠点(県営スポーツ施設)の機能充実	・競技別強化拠点での重点強化 ・強化の拠点となるチーム・団体への支援の検討
		2 競技別強化拠点の確立	・トップアスリートとの交流の促進 ・元氣とやまスポーツ応援基金によるトップアスリートの活動支援 ・トップアスリートを支える財源の確保
3 トップアスリートを応援する体制の整備		1 トップアスリートを応援する気運の醸成	・障害者スポーツ協会と連携し、全国大会や国際大会参加への旅費等の支援 ・マスメディアやホームページ等を活用した県民への積極的な情報提供
	2 障害者アスリートへの応援体制の整備	・広報活動の促進	
④ スポーツを支える人材の育成と活用	1 スポーツに関わる多様な人材の育成と活用の推進	1 スポーツ活動を支える人材の育成	・県スポーツ推進委員協議会の活動推進 ・総合型クラブのクラブマネージャー等の資質向上 ・障害者スポーツ指導者の資質向上 ・地域のスポーツ指導者の資質向上 ・バスケットとやま(指導者人材バンク)の活用と内容の充実
		2 国際大会等で活躍したトップアスリートの活用の推進	・ジュニア選手の育成・強化や子どもの体力向上事業への積極的な活用
		3 スポーツボランティアの育成と活用の推進	・スポーツボランティアの育成と活動の普及啓発 ・ボランティア活動の機会づくり
	2 競技力の向上を担う指導者と、国際レベルの強化拠点との連携強化	1 スポーツ医・科学的サポートの充実と中央強化拠点との連携強化	・トップレベルのトレーニング指導ができる指導者の育成・活用 ・練習拠点における指導者の育成強化 ・JISSSやNTCとの連携強化
		2 IoT、DXを活用できる競技別アナリストの育成	・指導者の資質向上とデータを活用できる人材の育成 ・富山県立大学等の研究機関との連携によるサポート体制の充実
	3 スポーツ活動に対する顕彰の充実	1 国際大会等で活躍した富山のアスリートを称える顕彰の充実	・アスリート等の顕彰の充実
2 県民の多様なスポーツ活動を称える顕彰の充実		・「とやま県民スポーツ大賞」の充実	
⑤ スポーツを通じた関係人口の創出と地域の活性化	1 地域を活性化させるスポーツの推進	1 本県の魅力を活かしたスポーツイベント等の開催	・富山マラソンの充実 ・ウォーキングイベントによる地域活性化 ・関係機関等と連携したスポーツイベント等の企画・誘致
		2 新たな武道館整備等を契機とするスポーツ環境の魅力向上	・武道の振興・競技力の向上(再掲) ・武道館整備を含む県総合運動公園と周辺スポーツ施設等の連携と魅力向上(再掲) ・スポーツコミッションを通じた大会・合宿誘致
		3 スポーツを通じた交流の促進と関係人口の創出	・スポーツコミッションを通じた大会・合宿誘致(再掲) ・各種大会等による国際交流の推進 ・スポーツ教室や大会、ボランティアなどの参加機会の充実
	2 スポーツに関わる機会づくりの推進	1 トップアスリートと交流する機会づくりの推進	・地元チームを応援する環境づくり ・トップアスリートと交流する機会づくりの推進
		2 プロスポーツ等と連携したスポーツの魅力の発信	・プロスポーツチーム等の地域貢献活動の推進 ・スポーツコミッションを通じたプロ・トップスポーツチームと地域との連携促進 ・トップスポーツクラブと企業等の連携・協力体制の整備
	3 スポーツ情報等の発信	1 スポーツ情報の効果的な発信	・とやまスポーツ情報ネットワークの充実 ・スポーツ情報の積極的・効果的な発信 ・スポーツ大会やイベントの魅力等の情報発信
2 本県のスポーツ環境のPRと利便性の向上		・スポーツコミッションを通じた優れたスポーツ環境の県外への情報発信・PR ・文化・スポーツ施設予約システムの導入による県民の利便性向上	